



2021年2月10日

MORISHO グループ 代表取締役 森山 和浩
株式会社モリショウ
日本フォレスト株式会社
株式会社グリーン発電大分
日田グリーン電力株式会社

「脱炭素チャレンジカップ2021」で環境大臣賞グランプリを受賞しました
～木質バイオマス発電を核としたSDGsへの取り組み～

株式会社モリショウ（所在地：大分県日田市、代表取締役：森山 和浩、以下「当社」）は、当社グループ（日本フォレスト株式会社、株式会社グリーン発電大分、日田グリーン電力株式会社）として、「木質バイオマス発電を核としたSDGsへの取り組み」により、2021年2月9日、一般社団法人地球温暖化防止全国ネットが主催する「脱炭素チャレンジカップ2021」のファイナリストとしてプレゼンテーション審査に臨み、「環境大臣賞グランプリ」を受賞しました。

「脱炭素チャレンジカップ」は、全国の学校や企業、自治体、NPOなど様々な団体が、脱炭素社会の実現に向けた活動を発表することで、そのノウハウや情報を共有し、さらなる活動の発展に向けた連携や意欲を創出することを目指す全国大会です。前身の「低炭素杯」を含め、2011年より開催されています。

今大会では、全国から「市民部門」、「企業・自治体部門」、「学生部門（高校生以上）」、「ジュニア・キッズ部門（中学生以下）」の4部門に応募のあった団体の中から、書類審査を通過しファイナリストに選出された28団体がプレゼンテーション審査に臨みました。

当社グループの日本フォレスト株式会社は、木質バイオマス発電などで使用する木質チップの製造と環境リサイクル機械の販売を中心に事業を行っており、株式会社グリーン発電大分では木質バイオマス発電を、日田グリーン電力株式会社では日田市内の公共施設や全小中学校などに電気を供給しており、これからもグループ一丸となって、地域社会に貢献し、持続可能な社会の実現に寄与していきます。

【取り組みの概要】

日田市及び近郊で育った木材で発電した電気を市内の小中学校や公共施設に供給する「電力の地産地消モデル」を中心として、建築廃材などのリサイクルや山林の保全のための種苗育成などを通じて、環境にやさしいエネルギー供給が将来にわたって継続できる仕組みづくりに取り組んでいきます。

間伐材を発電用の燃料として利用し、環境にやさしい発電を行うとともに、山林の保全と林業家の収益の安定化に寄与します。

また、廃材をリサイクルすることにより、省資源とゴミの減量に寄与するとともに、スギや早生樹の種苗を栽培し、供給を行うことで、伐採後の山林が再び森林資源を供給できるサイクルの確立を目指します。



【関連リンク】

- ・脱炭素チャレンジカップ公式サイト

<https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/>

- ・サステナブル・ビジネス・マガジン「オルタナ」
「脱炭素チャレンジカップ 2021 最優秀はモリショウ」

<https://www.alterna.co.jp/35185/>

以 上

【お問い合わせ先】

株式会社モリショウ

広報担当：河野

電話：0973-26-0850

Email：kawano@n-forest.jp